



二輪草だより

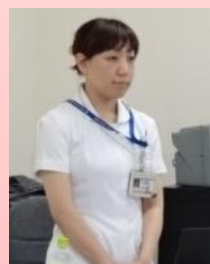
平成27年9月号
発行:二輪草センター

センターの活動予定 ◆10月下旬 二輪草プラン推進委員会議 二輪草だより10月号発行

「訪問看護ステーション看護師のための生涯学習支援研修」終了報告

看護職キャリア支援職場適応支援担当 菊地 美登里

8月19日(水)20日(木)の2日間で、訪問看護を実践している看護職の皆さんを対象とした「生涯学習支援研修」を開催しました。市内の6施設から13名の参加がありました。この研修の目的は、訪問看護に必要な知識・技術の再習得の機会とすることと、大学病院と訪問看護ステーションの交流を図ることにあります。



上野看護師

1日目は11名の参加で、研修テーマは、「在宅でできるスキンケア～観察の基本から褥瘡の対処まで～」とし、皮膚・排泄ケア認定看護師上野直美さんに講師をお願いしました。褥瘡の予防、評価方法、創傷被覆材の使用法など盛りだくさんの内容でした。評価スケールの使い方や被覆材の選択についての質問があり、アンケートでは、「褥瘡の原因を理解し解決することが大事であることに気付いた」「今実施しているケアで良いと再確認できた」「新しい知識・技術が得られ勉強になった」などの感想があり、大変好評でした。褥瘡ケアは在宅では多く直面する課題であることから、参加者は真剣な表情で聞いていました。

2日目は、8名の参加があり、「食べる欲求を支えるケア～摂食・嚥下リハビリテーション～」について、リハビリテーション部言語聴覚士の林圭輔さんに講義していただきました。内容は、摂食・嚥下のメカニズム、高齢者の摂食・嚥下の問題点、嚥下のリハビリなどについて、動画を用いた講義や演習で非常にわかりやすく即実践に生かせる具体的な内容でした。研修者からは、困難な事例についての質問があり時間が足りないほどでした。また、アンケートでは、「日ごろのケアを振り返る機会になった」「勉強になった。ケアに生かしたい」「1日でも長く経口摂取できるようにリハビリを行いたい」など大変好評でした。講義の中で、“食べられる人が食べさせられていない”現状があるとお話があり摂食・嚥下のメカニズムを知りアセスメントし適切にケアすることで「食べられる」人が多くいることを知りました。

この研修は今年で3回目になりますが、今後も大学病院と地域との交流を図り、看護の実践力を高める研修となるように検討し継続したいと考えています。



研修会の様子

病児一時預かり室、バックアップナース、病児・病後児保育室、カウンセリング相談 【8月20日～9月19日までの利用状況】

病児一時預かり室	依頼回数	0回	利用回数	0回
バックアップナース	依頼回数	9回	稼働回数	9回
病児・病後児保育室	依頼回数	13回	利用回数	11回
カウンセリング相談			利用回数	7回

* 病児一時預り室、病児・病後児保育室は全職員・学生がご利用になれます

「医学概論 ワークライフバランスを考えよう」終了報告

二輪草副センター長 安孫子 亜津子

平成27年8月17日に、医学科3年生を対象に「ワークライフバランスを考えよう」の講義および実習を行いました。今年の3年生は128名と大人数で、夏休み明けのリフレッシュされた頭で、丸1日をかけて色々と考えてもらいました。

最初に教育センターの蒔田芳男先生から開催のご挨拶をいただき、その後実習前の考えや知識をプレアンケートに記載してもらいました。二輪草センターの菅野恭子先生から医師のワークライフバランスと二輪草センターについて講義していただきました。先生が実際に子育て中に工夫されたことや、朝方に生活パターンを変えたことなどが、学生さん達には印象的であったようです。

「グループ討論」では、8～9人の15グループに分かれて、4パターンのケースに関して、キャリアプランを考えたり、具体的な問題点やサポート内容を抽出するなどといった議論してもらいました。どのグループも白熱した議論で、あっという間の1時間だったようです。討論内容は、各グループの代表者からパワーポイントを使って発表してもらいました。自分のキャリアとパートナーのキャリアをどのようにプランしていくのかを悩んで導き、その中で結婚、出産があった場合にどのように対処していくのか、各グループの特色を感じる色々な意見が発表されました。仕事と家庭の両者を大切にすることを基本に考えられたプランが多く、男子学生の育児参加や育休に積極的な意見が多いことには少し驚きました。

午後のグループ発表後には、「先輩医師のワークライフ体験談」として、3人の先生からお話をいただきました。第2内科の和田佳緒利先生からは、消化器内科としてのキャリアアップをしながら、3人のお子さんを育てられ、ご主人の海外留学時には一旦仕事を離れて同行し、新たな経験をたくさんされたお話をお聞きしました。腫瘍病理の山本雅大先生からは、イクメンとして医師の奥さんと共に今まさに積極的に育児参加していることや、フィンランド留学時代に出会った北欧におけるワークライフバランスの色々なケースもご紹介いただきました。旭川赤十字病院の長谷部千登美先生からは、ライフイベントの時期によって、ワークとライフのバランスの重きを上手く変えながらキャリアアップをされてきた経緯をお話していただき、内科医としてそして母としてのたくさんのご経験から学生への熱いメッセージをいただきました。学生さん達は、体験談を聞いて、これまで知らなかった世界が衝撃的であったり、将来の自分の医師像をイメージすることができたりなど、様々な感情を抱いてくれたことと思います。

最後に自身のキャリア未来年表と、ポストアンケートを記載してもらい、二輪草センター長の山本明美先生からはスタイルチェックによるタイプ別診断を説明していただき、講義を終了しました。この講義をきっかけに、ワークライフバランスとキャリアプラン構築の重要性を考えることのできる学生さんが増えることを期待します。

グループ討論では学内のたくさんの先生方にタスクフォースとしてお手伝いいただき、グループ発表でもご感想をお話していただきました。お忙しいところお時間を作っていただきましたことを深謝いたします。



・第二内科 和田先生・腫瘍病理 山本先生・旭川赤十字病院 長谷部先生 ・グループワークの様子

【お問い合わせ先】 旭川医科大学 二輪草センター(復職・子育て・介護支援センター)

〒078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1-1

TEL 0166-69-3240(内線3240) サンニンヨレ FAX 0166-69-3249

開設時間8時30分～17時15分 E-mail: nirinsou@asahikawa-med.ac.jp

ホームページ <http://www.asahikawa-med.ac.jp/hospital/nirinsou/>